



さやまリパフェス@入間川

新たな入間川との関係性のはじまり

平成に入ると、入間川でも「川の国応援団」といった市民の手による美化活動などが盛んに行われ、地域の貴重なオープンスペースとして川を見直す機運が高まってきました。

平成24年度に市と県による「川のまるごと再生プロジェクト」がスタートし、親水護岸や遊歩道、魚道の整備が行われるなど、この頃から入間川河川敷の状況は、人と自然が共存できるように大きく変化していきます。そして、令和を迎えた現在は、桜や曼珠沙華など四季折々の草花が人々の目を楽しませてくれる憩いの場として、皆さんの生活に浸透し始めています。

プロジェクト、始動

市では、河川敷の商業利用の規制緩和やこれまでの取り組みを踏まえ、平成28年度から「河川敷中央公園」を中心に、にぎわい創出と地域のイメージアップを図ることを目的とした「入間川とことん活用プロジェクト」をスタートしました。

「入間川とことん活用プロジェクト」の一番の目標はたくさんの方

した。

主なインフラ整備として、桜並木内の園路や照明灯、テーブル付きベンチなどを設置したほか、新たに家族連れやサイクリストを対象にした「さやまリパフェス@入間川」など多くのイベントを開催しました。また、ヨガなどの市民・企業発のイベント支援も行っています。

新たな憩いの場の創出へ

同時に、新たなにぎわいを生み出すためには、公園を利用する人たちのニーズに合ったサービスの提供ノウハウを持つ民間事業者の力が必要となります。そのため、多くの事業者にヒアリング調査を行い、出店に向けた課題を整理し、その結果、駐車場を増設し、子どもの遊び施設を設置することにしました。

そして、令和元年5月に県から河川敷中央公園の商業区域の指定を受け、園内で飲食施設の整備・運営を行う民間事業者の公募を行った結果、国内で約1千500店舗を展開するカフェ事業者、スターバックスコーヒージャパン株式会社を選定し、今年度末のオープンに向け、官民が連携した、新しいにぎわいづくりを目指しています。

人が河川敷を訪れ、地域全体が活性化すること。それを実現するために、活用エリアである河川敷中央公園を、入間川の魅力を最も感じられる場所として整備することで、自然と人が集まり、にぎ



民間事業者と共同で実施したモーニングヨガ

わう場所にすることができると考えました。

そこで、地域の自治会や市民団体、外部の有識者などを中心に協議会を発足し、議論を重ねながら整備の方向性を決定していきま



若手農家による野菜販売



イメージ

河川敷中央公園の愛称を募集！

今年度末にオープンを予定している、カフェとこども向けの遊び施設がある河川敷中央公園の愛称を募集します。カフェの店舗名にもこの名称が使われる予定です。たくさんの方の応募をお待ちしています。

募集期間 9月18日(金)～10月16日(金)

応募方法 電子申請システムか、応募用紙(商業観光課、公民館に用意。ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入し、直接持参か、郵送、メールで同課へ



イメージ